

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 12 日(2022.10.12)

【公開番号】特開 2020-179195(P2020-179195A)

【公開日】令和 2 年 11 月 5 日(2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-045

【出願番号】特願 2020-117025(P2020-117025)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 3 日(2022.10.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0 0 8 8】

実施例において、(a)シーリング構造は、シーリング構造の内周に向けて突き出るシーリングフラップをさらに含み、(b)該シールフラップは、患者の鼻骨の上の鼻の側面に対してシールを形成するように構成され、(c)該シーリングフラップは、鼻翼に対するシーリングを避けるように構成され、(d)シーリング表面の部分は、該ループの残余の部分に関して増大した柔軟性を有し、シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より薄い壁断面を含み、(e)シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より厚い壁断面を含み、(f)該ループは、鼻翼を含み鼻の側壁と接触するように位置しており、(g)該ループは、患者の鼻骨の上の鼻の側面と接触を維持するように構成され、(h)該ループは少なくとも 1 つの閉端を含み、(i)該ループは、シーリング構造を内側に折り畳んで、シーリング構造の内表面上に接続点を形成し、(j)該接続点は、シーリング表面に関連してループに十分な張力を提供して、ループの内表面に治療圧力が加えられた時、シーリング表面の外側へのプロードアウトに対抗し、(k)該ループは接続点において所定の角度を形成し、治療圧力が加えられた時、該所定の角度は、ループにおける張力を決定し、(l)該接続点は調整可能で、(m)該接続点は解放可能な接続で、(n)該シーリング構造はさらに第 2 の接続点を含み、(o)該シーリング表面は、低減された摩擦の領域を含み、患者の顔面との付着を低減し、(p)低減された摩擦の領域はフロスト加工された表面で、(q)低減された摩擦の領域は、患者の鼻の側面が、シーリング表面に抗して自由に滑るように適合され、及び/または(r)該ループはヘリの無いシーリング表面を提供する。

30

40

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 0】

実施例において、(a)シーリングフラップは、シーリング構造の内周に向けて突出し、(b)該シーリングフラップは、鼻骨の上の鼻の側面及び上顎上の鼻の側面の隣接部、患者のエンドカンチオンに隣接したくぼみに抗してシールを形成するように構成され、(c)該シーリングフラップは、鼻翼に対するシーリングを避けるように構成され、(d)

50

シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分に関して増大した柔軟性を有し、(e)
シーリング表面の該部分は、ループの残余の部分より薄い壁断面を有し、(f) シーリン
グ表面の該部分は、ループの残余の部分より厚い壁断面を有し、(g) 該シーリング表面
は、低減された摩擦の領域を含み、患者の顔面との付着を低減し、(h) 低減された摩擦
の領域はフロスト加工された表面で、(i) 低減された摩擦の領域は、患者の鼻の側面が
、シーリング表面に抗して自由に滑るように適合され、(j) 該第 1 のループは、患者の
顔面と接触するように適合されたシーリング構造の部分を画定し、(k) 該第 1 の部分と
第 2 の部分は、患者の顔面と接触するように適合されたシーリング構造の部分の一部で、
(l) 該第 1 の部分は連続で、(m) 第 2 のループは、患者の鼻と接触するようにまたは
それに沿って位置しており、(n) 第 2 のループは、実質的に管形状の構造が、患者の鼻
と接触するようにまたはそれに沿って位置しており、(o) 実質的に管形状の構造は、患
者の鼻の側面に実質的に平行に位置するように適合されており、(p) 該シーリング構造
は、さらに第 2 のループの第 2 を含み、(g) 該実質的に管形状の構造は、周囲圧力以上
の圧力と流体連結にあるように適合された中空内部を含み、(r) 該実質的に管形状の構
造は、2 つの解放端を含み、及び / または (s) 第 2 のループは、患者インタフェースが
内部的に加圧され、これを患者が調整する場合、第 2 のループのブローアウトを防止する
ように適合されている。

10

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 4 8

20

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 4 8】

シーリング表面 3 1 0 5 のいくつかまたはすべては、(比較的) 摩擦が低減した領域で
ある。これは所謂フロスト加工された表面を提供することによって達成できる。摩擦が低
減した領域があれば、ない場合より、シーリング表面の患者の顔面への付着が少なくなる
。摩擦が低減した領域は、固定具 3 1 1 0 の一部として提供でき、患者の鼻の側面 (複数
) が、シーリング表面 3 1 0 5 及び / または固定具 3 1 1 0 に沿って自由に滑ることがで
きる。

30

40

50